

進路だより No. 1

令和5年5月2日（火）
北区立堀船中学校
進路指導部

◇第1回進路説明会を終えて◇

4月20日（木）6校時に、第1回進路説明会を行いました。保護者の皆様におかれましてはご多用の中ご参会いただき、誠にありがとうございました。3年生が自分自身の進路について真剣に考えている姿が見られ、大変嬉しく思っているところです。

さて、生徒の皆さん。運動会や修学旅行など、行事がたくさんありますが、第1考査に向けて、授業を大切にいきましょう。そして、自分の将来を考えながら、希望の進路が見つかるように情報収集を心がけましょう。



～卒業後の進路を考えよう～

あと10ヶ月あまりで義務教育を修了します。その後は上級学校へ進学するか、または就職するか、選択する時期が差し迫っています。皆さんが自分に合った進路選択を主体的にできるように保護者の方や私たち教員がサポートします。つまり、**進路選択を行うのは先生や保護者の方ではなく、最終的に自分**であり、皆さんにはその権利があります。そのことを理解してこの一年の学習活動及び進路選択に取り組みましょう。

Q1 高等専門学校と高校のちがいは？

高専と呼ばれる高等専門学校は、技術者になるために実習を含む専門教育が行われる。大学と並ぶ5年生制の高等教育機関である。また教員免許を持った教師が教える高校とは異なり、高専では専門家の博士号を持った教員が授業を行う。

主に工業の分野で専門的に学び、卒業後は大学3年に編入する道も開かれている。

Q2 専修学校と各種学校とは何？

専修学校は就職したり、資格を得るために役立つ知識や技術をより専門的に学ぶ学校。中学校を卒業してすぐに進める高等課程がある学校を高等専修学校と呼ぶ。ほとんどが3年間修学し高等学校卒業と同等の資格が得られる。通信制の高等学校と連携し、同時に高校も修了となる専修学校もある。

各種学校は様々な年齢の人が職業や生活に役立つ知識や技術を学ぶ学校。調理や語学、珠算、パソコン、洋裁、予備校など様々あるが、高校卒業資格は得られない。

Q3 就職して学ぶ道もありますか？

就職は縁故による斡旋やハローワークの求人などを参考に就職活動を行うことが一般的。中学校を卒業して就職する人の中には、職場で先輩たちの仕事を見ながら専門的な技術や知識を覚え、腕を磨いていたり、働きながら企業内の学校で学んだり、高等学校の定時制に通う人など、多様な働き方がある。

※ 進路情報はホームページや教育委員会の都立高等学校のサイトなどに、たくさん掲載されています。積極的に調べて高校見学などの計画を立てていきましょう。